

ソーシャルワーカーデー2021 in 愛媛に寄せて

愛媛県医療ソーシャルワーカー協会は、1986年（昭和61年）に、医療ソーシャルワーカー（MSW）の資質向上を図り、社会福祉の増進と保健・医療・福祉の連携に貢献することを目的に設立されました。設立当初は5名の会員から始まり、現在では160名を超える会員で構成されている、医療ソーシャルワーカーの職能団体です。

医療ソーシャルワーカーは、保健医療機関において、社会福祉の立場から患者さんやその家族の方々の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図る業務を行います。具体的には、療養中の心理的・社会的問題の解決、調整援助、退院援助、社会復帰援助、受診・受療援助、経済的問題の解決、調整援助、地域活動と、会員が所属している各機関において、多岐に渡る業務を行っています。

ソーシャルワーカーデーは、ソーシャルワーカーの活動の推進と普及を目的として、県内のソーシャルワーカー三団体（一般社団法人愛媛県社会福祉士会、一般社団法人愛媛県精神保健福祉士会、当協会）が協働して、例年様々な企画を実施していました。しかし、昨今の新型コロナウイルス感染症の流行を受け、人との接触をできるだけ避ける必要もあり、今年度はSNSを活用した企画を実施することとなりました。

当協会の会員の多くが勤務しているのは医療機関です。新型コロナウイルスに感染してしまった患者さんへの治療を行っている医療機関、治療後の患者さんの在宅復帰へ向けて、後方支援医療機関としての機能を担っている医療機関もあります。その他の医療機関においても、患者さんには高齢の方が多く、どうしてもハイリスクの方が多くいる状況ですので、スタッフ自身も常に感染リスクとストレスを抱えて業務を行っています。実際、医療機関でもクラスター（集団感染）が発生、患者数の増加により医療逼迫が叫ばれていますが、私たちは人（クライアント）と関わることで支援・援助を行っており、そのつながり無くしては成り立ちません。この状況でも可能な形を模索しながら、そして感染リスクと闘いながら、足を止めることなく支援を続けていく必要がありますし、それを実践し続けていきます。

今回、これからソーシャルワーカーを目指す皆さん、そしてこの大変な状況下でも頑張っている現役のソーシャルワーカーの方々とつながることができる機会として、私自身非常に楽しみにしています。このつながりが、将来のソーシャルワーカーの大きな「WA」につながっていく事を祈念しています。これからも一緒に頑張っていきましょう！



愛媛県医療ソーシャルワーカー協会
会長 松本 康治